

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	7
事業名	笹尾コミュニティーセンター経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	3
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-1-3	生涯学習の推進			
主要施策	①社会教育関連施設の充実		⑤学習成果の活用		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	中央公民館の分館として地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与する。
事業内容	中央公民館の分館として、地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などに施設を提供する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	施設利用者数	20,274	21,154	18,901	人	↑	21,000
2								
3								
4								
5								
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					13,428	12,402	28,777	
財源内訳	直接事業費A				8,196	7,170	23,215	
	うち一般財源				6,039	5,201	21,109	
人件費（千円）B					5,232	5,232	5,562	
内訳	一般職員（人・千円）		0.25	1650	0.25	1,650	0.3	1,980
	臨時職員（人・千円）		1.99	3582	1.99	3,582	1.99	3,582

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	今後大規模な施設改修を行うため、公共施設総合管理計画（個別計画）の早期策定に取り組む。	③取組の課題	長期保全計画表を除いた部分を作成し、個別計画を完成させる必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	同計画のうち、長期保全計画表を作成した。	④今後の改善計画	個別計画の早期完成に取り組む。